

# コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

発行所 加西市立総合教育センター

加西市北条町古坂 1173-14

TEL 0790-42-3723

## 総合教育センター夏季研修講座実施

### 新たな学びのなかで

総合教育センターでは、夏休みの期間中、教職員の希望者を対象として、教育経営講座や発達検査講座、郷土(歴史・文化・自然)講座、パソコン講座など、のべ15の研修講座を開設しています。

そこで現在終了した研修講座の一部を報告します。



北条の町見学

古代から近代にわたる加西市の貴重な歴史を垣間見ることができました。今後ともこのような歴史的遺産を教育の現場でも大いに活用し、子どもたちが加西を知り、加西を愛し、更に後世

題して、学校の授業でも大変参考になりそうなユニークな講演をしていただきました。また、教育委員会の自己実現サポート課の協力を得て、「埋蔵文化財整理室」や「鶴野飛行場跡及び防空壕跡」の見学「北条地区めぐり」を行い、

教育経営講座では、兵庫教育大学の渡邊隆信教授に「世界のオルタナティブ・スクールから日本の教育を考える」と題して、世界の新教育を紹介いただきました。渡邊先生は講座の中で、日本の不登校問題へも言及され、「生徒を学校に適応させるのではなく、学校を生徒に適応させていく」という考え方や、生徒に対する対応の仕方として、「待つ」ことを重視し、「結果を求めず、待機として待つことも大事である」との示唆もいただきました。



植物を使った遊び

郷土講座では、井上博明先生に、三回の講座を開催していただき、「植物を使った遊び」「古法華の歴史と自然観察」「品種改良」と

に伝えていく取り組みが大切と  
なっていくことを感じました。



防空壕見学

### 教育相談窓口開設

総合教育センターでは、不登校や進路・学習の悩みなど、様々な教育に関する相談を左記の窓口

【教育相談窓口】  
TEL 0790-42-3730

- 電話相談 (予約不要)  
日時：平日 9:00~17:00
- 面接相談 (要予約)  
日時：毎週木曜日  
9:00~17:00
- 夜間面接相談 (要予約)  
日時：毎週火・金曜日  
18:30~20:30

### 夜間補導活動を展開

加西市青少年補導委員連絡協議会をはじめ、青少年健全育成関係団体による夜間巡回補導が連日のように行われています。

7月23日(土)には、「北播磨補導委員統一活動」が実施され、約40名の補導委員の方が、北条町駅前集合した後、イオン加西ショッピングセンターや丸山公園など、市内5ヶ所を巡回し、健全育成の啓発と補導活動を実施されました。



北播磨補導委員統一活動

また8月7日(日)に開催された「かさい夏っ彩夢フェスタ」でも約75名の補導委員の方が会場内の巡回補導にあたり、少年非行防止やトラブルの未然防止に尽力されました。その成果もあって事故等の発生も無く、無事終了しました。

で応じています。(無料)  
一人で悩まずに、まず相談してください。  
なお、面接による相談は予約制になっていきますので、事前にお電話をしてください。

# 「思春期ライフスキル教育」熱視線

## 問題に対し前向きに乗り越える能力を

加西ライオンズクラブ主催



写真：グループに分かれ、それぞれの課題について意見をまとめる参加者

子どもたちが日常生活で直面する様々な問題に対して、前向きに乗り越えていく能力を付ける「思春期ライフスキル教育」と呼ばれる教育手法への関心が高まっています。学校生活を送る上で必要不可欠なコミュニケーションスキルや、感情コントロールスキルをロールプレイなどで学ぶもの。8月3・4日の二日間、加西市内の小中学校の先生を対象に加西ライオンズクラブ主催のワークショップが開催されました。

研修室の中に円形に並べられた椅子に生徒役の先生たちが座る独特のスタイル。担任役の先生がまずゲーム的なアクティビティを行って場の雰囲気や和ませる。続いて課題を投げかけ、グループごとに取り組んでいく。グループは五人程度でその内で司会、記録、発表など、役割分担を行って進行していく。各グループとも積極的に意見が出され活気にあふれていた。各グループでまとめた意見は全体で紹介され、お互いの考えを共有し、さらに学びを深めていく。「ライフスキル教育」が、コミュニケーション能力を高める手法として注目されているのが理解できる一場面だった。参加者からは「短時間に多くのスキルを学習することができ、充実した時間だった」と言った感想が聞かれた。

## 親は子の鏡

人間が生きていく上での源、それは食することにあります。

私たちは、動物や植物の「いのち」をいただく、そして誰かに調理してもらって食べています。だからこそ「ありがとう」「すみません」という感謝の気持ちが必要なのでしょうね。

そして、基本的な生活習慣を

身に付けることで、人間は元気が出てくると思っています。

- ・ 毎朝決まった時刻に起床し、朝食を食べる。
- ・ 顔を洗う、歯磨きをする。
- ・ 毎晩決まった時刻に夕食を食べ、就寝する。

こうした生活を送ることで、「ようし、今日も一日頑張るぞ!」という意欲が湧いてくるのです。

親は子どもにこうした習慣を

子どもは不安になる  
「かわいそうな子だ」と言われて育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っこ込み思案な子になる  
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない  
ほめてあげれば、子どもは明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは自分を好きになる

見つけてあげれば、子どもは頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ

やさしく思いやりを持って育てれば、子どもはやさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育

てば、子どもはこの世の中はいいところだと思えるようになる

子どもたちは、私たち大人の行動を見て育っています。「大人が変われば子どもは変わる」といわれますが、あらためて私たち大人の行動を見つめ直し、子どもたちの模範となるような生き方をしたいものです。

## 不登校の子どもを持つ

### 「親の会」開催

総合教育センターでは、毎月第4木曜日の午後3時から約2時間、「親の会」を開催しています。(9月は22日)

様々な理由により学校に行けなくなっている子どもは全国で約11万5千人います。学校へ行くことが普通とされる社会通念、また学歴社会の中で非常に苦しみ、自己否定に陥っています。

親もまた子育てのあり方を問われ、苦しんでいます。

本会は、そうした親の気持ちを理解し、受け止め、また親たちが互いに支え合い、学び合う自助活動を12年間行ってきました。同じような経験を持つ親同士が出会い、語り合うことで、気持ちがお楽になります。

ぜひご参加ください。

問合せ先 ☎ 42-3730

身に付けさせることが役目です。

親は子の鏡

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる

とげとげしい家庭で育つと、子どもは乱暴になる

不安な気持ちで育てると、

